

別科助産専攻開設の趣旨

沖縄県の新生児死亡率や周産期死亡率、死産率は全国平均と比較して高率であることから、本島内に2カ所の周産期高度医療を担うセンターが開設され、母子医療の改善が図られている。しかし、マンパワー不足に起因する問題が発生している。それは産婦人科医師の不足による公立病院産科の閉鎖存続の危機、産科病院や診療所の助産師不足による助産および母子へのケア提供不足の状況である。さらに多くの有人離島を抱える本島では、離島妊産婦へも必要な母子保健医療の提供が求められている。

これまで、本県の産科施設では正常・異常に関わらず妊産管理は医師が中心的役割を担っていたが、産婦人科医師の不足により、今後は正常な妊産褥婦の保健管理・助産には助産師の主体的参加が期待されている。

教育目標

- ①沖縄県の抱える課題に応じ、母子の健康を守るとともに、現状を改善する能力を養う。
- ②ライフサイクル各期の女性に対し、母性保健の視点から健康の保持増進の援助ができる能力を養う。
- ③助産師として自律するとともに、他職種との連携やチームアプローチを通し、専門職業人として沖縄県の母子保健医療に貢献できる能力を養う。
- ④科学的根拠に基づいた助産ケアが提供できるよう自らを教育できる能力を養う。

カリキュラムの概要



国家試験(助産師)合格状況の推移			
実施年度	受験者(人)	合格者(人)	合格率
平成20年度	19	19	100.0
平成21年度	20	15	75.0
平成22年度	19	18	94.7
平成23年度	19	19	100.0
平成24年度	19	19	100.0
平成25年度	20	20	100.0
合計	116	110	94.8

平成25年度主な実習施設
アドベンチスト・メディカルセンター
医療法人がじゅまるの家 糸数病院
医療法人海秀会 上村病院
医療法人友愛会 豊見城中央病院
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院
社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
沖縄医療生活協働組合 沖縄協同病院
沖縄県立中部病院
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
沖縄赤十字病院
かみや母と子のクリニック
久米島町役場
公立久米島病院
当山産婦人科医院

主な就職先
沖縄県立病院
琉球大学医学部附属病院
那覇市立病院
沖縄赤十字病院
中頭病院
名城病院
アドベンチスト・メディカルセンター
豊見城中央病院
沖縄協同病院

在学生の声



別科助産専攻
渡口 紗都子

「助産師になりたい!!」と思ったきっかけは、私自身の出産です。陣痛中そばで勇気づけてくれ、おっぱいトラブルの時には親身になりケアしてくれた「あの助産師のように私もなりたい」と思い沖縄県立看護大学別科助産専攻に入学しました。前期は分娩介助や母乳育児支援等、講義と演習で助産の基礎を楽しく学び、8月からは3ヶ月間の助産実習に入りました。前期の学びを基に両親学級では妊婦さんに分娩教育を行い、実際に10例の分娩介助を行う中“ふたりの生命を守る”緊張感と生命誕生の瞬間に立ち会える助産師という職業に更に魅力を感じました。オンコール体制は大変でしたが、担当教員や実習スタッフの温かい励ましで乗り越えられました。1歳の息子の育児をしながらの学生生活ですが、息子の笑顔と家族に支えられ頑張る事ができています。2月に控えた助産師国家試験を乗り越え、いつか「あなたがいて良かった」と女性の力になれる助産師を目指し沖縄県の母子保健に貢献していきます。

